

## 図書館の活動報告

附属図書館 竹下 真弓

図書館では、知識と出会う場として、様々な企画や展示を実施している。

2022年5月から、本学卒業生と森田地区住民の方への貸出サービスを再開した。開館日時等の詳細は、附属図書館HPをご確認いただきたい。(https://www.jin-ai.ac.jp/library/library.php)

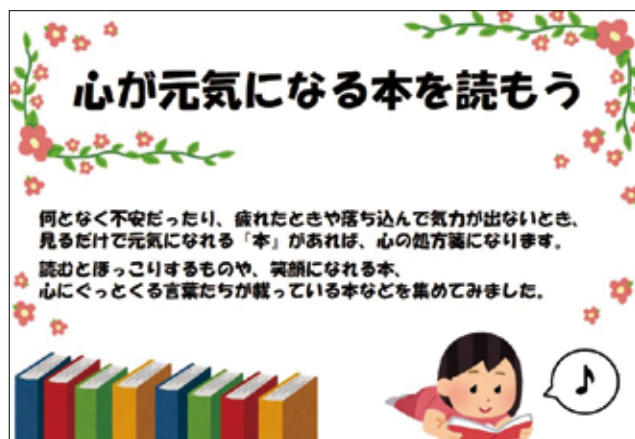
### ●2022年4月「本屋大賞受賞作品展」

2022年本屋大賞受賞作『同志少女よ敵を撃て』逢坂冬馬著をはじめ、候補作品あわせて10冊を展示した。



### ●2022年6月「心が元気になる本を読もう」

笑顔になれる本、心にぐっとくる言葉が掲載されている本を25冊展示した。



### ●2022年5月「戦争と平和を考える」

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続く中、本を通して平和について考えるきっかけになればと、本学図書館が所蔵するおすすめの絵本や図書を25冊展示した。



### ●2022年9-10月「図書館サポーター選書本」

後期の授業開始に合わせ、図書館サポーター14名が選書した図書・CD・DVDなど48点をおすすめのコメントを添えて展示した。同年代の学生が選ぶ図書等は、人気があり、頻繁に貸出され、工夫を凝らしたPOPも見応えがある。



### ●2022年10月「映像化された作品特集」

図書館に所蔵している映像化された小説とDVDを39点展示した。改めて小説や映像を読み返したり、見返したりする学生の姿が多く見られた。



### ●2022年11月「読書の秋に読みたいおすすめの本!」

毎年、各学科・専攻の教員から推薦していただいている本から9冊、図書館所蔵の本から行楽・芸術・食関係の本を11冊選び、計20冊を展示した。



### ●2022年12月「写真サークル作品展」

“他人が見る世界、見たくないですか?”をテーマに写真サークルの作品展示を開催した。顧問の澤崎先生の提案により、メタバース空間にも写真展の場を設定した。図書館というリアルな展示と仮想空間での展示により、それぞれ違った視点で体験できた。



### ●2022年12月「第10回青空文庫表紙コンテスト」

Webサイト「青空文庫」には著作権の切れた古い文学作品が掲載されている。

その中から3作品(今年は、『幸福のはさみ』・『おきなくさ』・『お菓子の大舞踏会』)を図書館が選び、作品の持つ魅力を一層際立たせる表紙を選ぶコンテストを実施した。どの作品も個性あふれる素敵な表紙だった。

※今年度優秀賞受賞作



### ●2023年1月「絵本なぞなぞシリーズ作品展」

幼児教育学科「保育内容指導法 言葉」(1回生)の授業で過去に創作された作品の中で選出された32点となぞなぞ関連の図書や絵本もあわせて展示した。学生が創作したなぞなぞとそれに関連する貼り絵が施されている。先輩方の作品を、お手本にと作品を鑑賞する姿が見られた。



2022年度は、図書館の企画・展示を14回実施することができた。

今後も、この企画や展示が新たな本や知識と出会うきっかけになるよう努めていきたい。